当社記事が掲載されました

"大物撮影X線CT装置"

アールエフが開発、先行予約を受け付け

撮影エリアは5倍（体積比）に

㈱アールエフ（産業機器部☎026-225-7733）は、これまで販売してきたX線CT装置「NAOMi-CT」（商品名）に比べ、撮影エリアが5倍（体積比）の大物撮影X線CT装置を開発、今春から販売開始する。現在、先行予約を受け付けている。

なお、同社では大型装置の開発に伴い、従来装置を型番001C、今回の装置を型番002Lとした。

NAOMi-CTの大きな特長が、優れた性能を有しながら価格が驚くほど安いこと。従来の001Cは2800万円と考えられない安さで販売されている。今回開発された大型の002Lは撮影エリアが001Cの5倍もあるにもかかわらず、プラス100万円の380万円に別途専用のPC代39万円と、やはり非常に安い。

002Lの特長は001Cと大枠同じだが、取得画像が大きくなるので、撮影時間（撮影～画像表示）が、001Cが約1分なのに対し、002Lは約2分になる。勿論002LもX線取扱いの免許は不要。

これまで001Cでは1回の撮影ではエリアに収まらない場合、2回に分けて撮影していたケースや、装置に入れるために切断していたケースもあるが、大型の002Lによればともに工数の削減になり、1つの撮影画像で全体を観察できることが大きなメリットになる。

NAOMi-CTは、アールエフがシェアNo.1本体と、撮影した本体からの情報を3D構成する専用コンピュータ、画像を表示・確認（解析）するモニタ-から構成されている。

内部を見ることができるものの大きさは、搭載可能サイズであるターンテーブルが001Cはφ250㎜×高さ230㎜、002Lはφ300㎜×高さ320㎜に収まるもの。

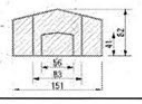
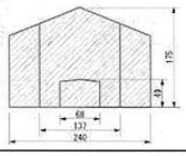
内部を見たいものをターンテーブル上に置き、扉を閉めてX線を当てながらターンテーブルが360度回転中に約400枚（標準モード）のX線が透過した写真を撮る。撮影スピードはわずか16秒。

この約400枚の写真をコンピュータ画像処理することにより、内部全体が見えている画像ができる。この画像に対し見たい部分をマウスで操作するだけで、どこからでもぶつ切りにして3Dで内部を見ることができる。

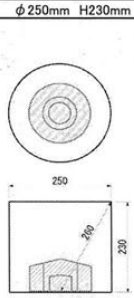
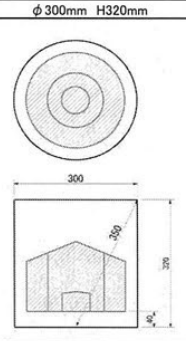
撮影可能な対象物は、プラスチック成形加工品、プラスチック製品等に限らず、ゴム製品、食品、化粧品、文具、玩具、骨、アルミニウム（φ50～60㎜程度）などで、様々なものを非破壊で検査できる。

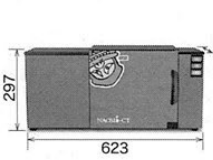
なお、お試し撮影は同社の全国29箇所の「さんぎょうCT診断センター」にて無料で対応している（土・日曜日も利用でき、利用時間は11時から19時まで）。

NAOMi-CTの001Cと002Lの撮影エリアと、被写体サイズ

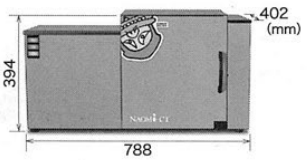
型番	NAOMi-CT 001C		NAOMi-CT 002L	
パネル	Mパネル		Lパネル	
本体価格	280万円		380万円	
● 撮影エリア				
撮影モード	撮影エリア	画素サイズ	撮影エリア	画素サイズ
オフセット（広範囲）	φ151mm H82～63mm	0.205mm	φ240mm H175～125mm	0.24mm
ノーマル（標準）	φ 83mm H82～72mm	0.136mm	φ137mm H175～147mm	0.16mm
バーシャル（高解像度）	φ 56mm H41～37mm	0.068mm	φ68mm H49～45mm	0.083mm
体積比 約5.16倍 ※オフセットで比較				

● 装置に入れられる被写体のサイズ

	φ250mm H230mm	φ300mm H320mm
体積比 約2倍		



001C



002L

エンプラニュース
発行所 プラスチック・ニュース社　発行人 力久俊二
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-45-5 新宿永谷ビル402号 購読料1ヵ年15,000円
電話03-3200-0317 FAX03-3200-0374 E-mail: plastic@oak.ocn.ne.jp
2019年1月号（第402号）毎月1回末日発行 https://plasticnews.themedia.jp

2019年1月号（第402号）※毎月末1回発行
3面に掲載